

いつくるかわからない 地震に備えましょう！！

土石流・崖崩れ・地滑り・竜巻・台風等

小字単位の自治会館等に避難が可能=自治会内の電話連絡網を活用
自治会に相談したり、避難するための時間はある

開設している避難所は、
「香川県防災ナビ」等で
調べる。

床上浸水以上の洪水

避難指示が出てから避難するための時間はある

震度5強までの地震

突発！　自宅等で命を守る=家具の固定　被害は少ない

これらと

これは

別

震度6強クラスの地震

突発

家具類が散乱し余震も大！
室内危険！

自宅等で命を守る=家具の固定、地震シェルター

非常持出=ヘルメット、くつ、雨合羽、
懐中電灯、車泊に備えた車のキー、携帯電話

2次的持出=市販の防災用品セット、備蓄水食料等

右は、一例。
自分で考え、備える。

第1次避難から避難所への避難

自宅は、こわくて、もどれない場合が多い

2次的持出は、あらかじめ避難所に備えておくのが避難の基本

指定避難所開設訓練と整備が必要

避難所には多数の避難者が押し寄せる

収容不足の問題は、車泊、テント泊を考えておく

常磐小学校区自主防災会 会報 第4号 (ウラ面)

校区自主防災会では、避難所開設訓練の前提を下図のように設定していますが、この前提こそが、南海トラフ最大クラス発災の状況です。オモテ面の風水害等とは、切迫性も対応方法もまったく異なりますから、皆様ご自身が、ご自分に適する備えを考えておいてその時の命と健康を守りましょう。

